

# 江南市污水適正処理構想の見直しについて

## 污水適正処理構想とは

江南市污水適正処理構想は、市全域を対象とした効率的かつ効果的な污水处理施設の整備を行うために、下水道、合併処理浄化槽等の各種污水处理施設の整備予定区域を設定するものです。

本構想は愛知県の示す方針に基づき愛知県全市町村が一斉に策定し、愛知県が策定する「愛知県全県域污水適正処理構想」に反映されるものです。

## 見直しの理由

今回の江南市污水適正処理構想の見直しは、人口減少や高齢化の本格化、地域社会構造の変化など污水处理施設の整備を取り巻く諸情勢が大きく変化してきていること、また、社会経済情勢が依然として厳しい状況にあることを踏まえ、国の考え方にに基づき愛知県が「愛知県全県域污水適正処理構想」の見直しを行うために愛知県全市町村に構想見直しを要請したことを受けて着手したもので、これら近年の諸情勢を反映することを目的としたものです。

## 江南市の污水処理の現状と課題

江南市では、下水道整備の事業着手が平成6年度と他の市町村より遅く、平成21年度末での下水道普及率は20.9%（愛知県平均70.8%）となっております。

下水道の計画区域内の市街化区域の下水道整備完了までには、数十年かかることが予想され、施設のより効率的な整備、管理運営が課題となっております。

## 見直しの基本方針

見直しの基本方針は、人口減少等の社会情勢が大きく変化していることを前提として、下水道等污水处理施設の耐用年数が長期に渡ることを、既に施設が一定程度整備されている状況を踏まえ、①社会情勢の変化等の反映、②污水处理施設間の連携の強化、③住民意向の把握、に留意して見直すものであります。

## 見直しによる指標の変化（人口・処理区数・処理人口（集合・個別）の変化）

### 構想見直し比較調書

		見直し前			見直し後			増減		
		99100			92800			-6300		
区 分		処理区数 (箇所)	整備面積 (ha)	処理人口 (人)	処理区数 (箇所)	整備面積 (ha)	処理人口 (人)	処理区数 (箇所)	整備面積 (ha)	処理人口 (人)
下水道	流域関連公共下水道事業	1	1,714.4	94,223	1	1,699.6	88,675		-14.8	-5,548
	単独公共下水道事業	2	63.7	3,393	2	56.1	1,925		-7.6	-1,468
	下水道計	3	1,778.1	97,616	3	1,755.7	90,600		-22.4	-7,016
浄化槽	合併処理浄化槽		1,238.9	1,484		1,261.3	2,200		22.4	716
合 計		3	3,017.0	99,100	3	3,017.0	92,800		0.0	-6,300
集合処理計			1,778.1	97,616		1,755.7	90,600		-22.4	-7,016
個別処理計			1,238.9	1,484		1,261.3	2,200		22.4	716

## 見直しのポイント

今回の見直しのポイントは、特に以下の点に留意しました。

- (1) 人口・世帯数など将来予測値を 20 年後に設定し経済比較を行いました。
- (2) 汚水処理施設の整備手法については、コスト算定や経済比較方法の統一化を図り、より地域の実情に合った適正な選択を行いました。
- (3) 市街化区域についても、DID 地区以外は経済比較による確認を行いました。

## 今後の整備の見込み

江南市汚水適正処理構想の見直し（案）の結果は、構想見直し比較調書の表に示すとおり、1699.6ha（計画処理人口 88,675 人）を流域関連公共下水道区域、56.1ha（計画処理人口 1,925 人）を単独公共下水道区域、その他の区域（計画処理人口 2,200 人）を合併処理浄化槽整備区域として、平成 70 年度完了を目標に整備を推進する方針としました。